

平成 20 年 5 月 22 日

各 位

会社名 佐渡汽船株式会社  
代表者の 代表取締役社長 小川 健  
役職・氏名  
( J A S D A Q コード番号 9 1 7 6 )  
問合せ先 取締役総務部長 木村 毅  
役職・氏名  
電話番号 0 2 5 - 2 4 5 - 2 3 1 1

平成 20 年 12 月期中間期（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 12 月期中間（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）及び通期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の業績予想（連結・個別）について、平成 20 年 2 月 28 日付にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期（平成 20 年 1 月 1 日～20 年 6 月 30 日）

（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A） （平成 20 年 2 月 28 日発表）	百万円 4,276	百万円 361	百万円 469	百万円 484
今回修正（B）	4,261	507	622	240
増減額（B - A）	15	146	153	244
増減率（%）	0.4	-	-	-

(2) 修正理由

平成 20 年 12 月期中間期の売上高は、燃料油価格の高騰に伴い平成 20 年 4 月から燃料油価格変動調整金を引き上げた（旅客・大人 1 名片道 120 円アップ、航送車両 1 台片道 850 円アップ）ものの、輸送人員、車両航送台数共に前回予想を下回るために減少する見込みであります。

また、定款変更により不動産賃貸業事業が事業目的から削除されたこと及び同事業における売上高の重要性が希薄であることを勘案し、従来は売上高に計上しておりました不動産賃貸業収益を営業外収益（貸地貸室料）に計上する方法に変更したことも売上高減少の一因となっております。

営業利益につきましては、当該売上高における計上方法の変更に伴い、不動産賃貸業費用を営業外費用（賃貸資産減価償却費、賃貸資産維持管理費）に計上する方法に変更したことによる費用減もありませんが、原油価格の高騰が予想を上回ったことから、船舶燃料費が大幅に増加し、損失が増加する見込みであります。

経常利益につきましては、上記、不動産賃貸業における費用が賃貸料収入を上回る見込みであることから、損失が増加する見込みであります。

当期純利益につきましては、余剰設備となっておりましたカーフェリーこさど丸の売却益が約 373 百万円発生する見込みであり、また、同船の特別修繕引当金取崩益が約 37 百万円発生する見込みであることから、損失が減少する見込みであります。

上記の理由により、売上高 4,261 百万円、営業利益 507 百万円、経常利益 622 百万円、当期純利益 240 百万円に修正いたします。

(3) 通 期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 20 年 12 月 31 日) (百万円未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成 20 年 2 月 28 日発表)	百万円 10,109	百万円 486	百万円 302	百万円 279
今回修正 (B)	10,384	477	300	676
増 減 額 (B - A)	275	9	2	397
増 減 率 (%)	2.7	1.9	0.7	142.3

(4) 修正理由

平成 20 年 12 月期通期の売上高は、輸送人員、車両航送台数、貨物輸送トン数について、ほぼ前回予想と同数を見込んでおりますが、燃料油価格変動調整金を平成 20 年 4 月から燃料油価格変動調整金を引き上げたことから増加する見込みであります。

営業利益につきましては、売上高増加の影響を受けるものの、船舶燃料費が大幅に増加する見込みであることから、減少する見込みであります。

経常利益につきましては、上記、不動産賃貸業における費用が賃貸料収入を上回る見込みであります。支払利息が減少する見込みであることから、前回見込みを僅かに下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、余剰設備となっておりましたカーフェリーこさど丸の売却益が約 373 百万円、また、同船の特別修繕引当金取崩益が約 37 百万円発生する見込みであることから、増加する見込みであります。

以上の理由により、売上高 10,384 百万円、営業利益 477 百万円、経常利益 300 百万円、当期純利益 676 百万円に修正いたします。

(5) ご参考：前期の実績 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日) (百万円未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期 (1/1 ~ 6/30)	3,912	515	645	291
通 期 (1/1 ~ 12/31)	9,303	192	55	315

2. 平成 20 年 12 月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日) (百万円未満切捨)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成 20 年 2 月 28 日発表)	百万円 3,685	百万円 401	百万円 500	百万円 505
今回修正 (B)	3,658	531	639	244
増 減 額 (B - A)	27	130	139	261
増 減 率 (%)	0.7	-	-	-

(2) 修正理由

中間期連結業績予想と同様の理由により、売上高 3,658 百万円、営業利益 531 百万円、経常利益 639 百万円、当期純利益 244 百万円に修正いたします。

(3) 通 期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日) (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 ( A ) (平成20年2月28日発表)	百万円 8,806	百万円 425	百万円 254	百万円 244
今回修正 ( B )	9,081	425	258	647
増減額 ( B - A )	275	0	4	403
増減率 ( % )	3.1	0.0	1.6	165.2

(4) 修正理由

通期連結業績予想と同様の理由により、売上高 9,081 百万円、営業利益 425 百万円、経常利益 258 百万円、当期純利益 647 百万円に修正いたします。

(5) ご参考：前期の実績 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日) (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期 (1/1 ~ 6/30)	3,605	525	648	287
通期 (1/1 ~ 12/31)	8,649	169	55	297

以上